【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和4年8月16日(2022.8.16)

【公開番号】特開2022-20635(P2022-20635A)
【公開日】令和4年2月1日(2022.2.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-018
【出願番号】特願2021-160641(P2021-160641)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　4/00(2018.01)
Ｈ０４Ｗ　8/22(2009.01)
Ｈ０４Ｗ80/10(2009.01)
Ｈ０４Ｗ88/18(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　4/00　１１０
Ｈ０４Ｗ　8/22
Ｈ０４Ｗ80/10
Ｈ０４Ｗ88/18

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月5日(2022.8.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の通信ネットワーク中のユーザ機器（ＵＥ）のためのプロトコルデータユニット（ＰＤＵ）セッションプロシージャを促進するための第１のノードにおける方法であって、前記第１の通信ネットワークが、第２の通信ネットワークとインターワーキングしており、前記インターワーキングをサポートする第２のノードが、ＰＤＵセッションを管理するために選択されており、前記方法が、
前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするかどうかを示す指示を決定することと、
前記指示を前記第２のノードに送ることと、を含み、
前記第１の通信ネットワークが第５世代システム（５ＧＳ）ネットワークであり、前記第２の通信ネットワークがエボルブドパケットシステム（ＥＰＳ）ネットワークであり、前記第１のノードがアクセスおよびモビリティ管理機能（ＡＭＦ）であり、前記第２のノードがパケットデータネットワークゲートウェイ制御プレーン機能＋セッション管理機能（ＰＧＷ－Ｃ＋ＳＭＦ）であり、
前記決定することが、前記ＵＥの能力もしくは前記ＵＥのサブスクリプションデータに、または、前記ＵＥの前記能力および前記ＵＥのサブスクリプションデータの両方に基づいており、
前記ＵＥの前記能力の値がＳ１モードサポートを含む、若しくは、前記ＵＥの前記サブスクリプションデータの値が前記第２の通信ネットワークに対するコアネットワークタイプ制限を含む、または、その両方である、
方法。
【請求項２】
前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポート

するかどうかは、前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークに移動され得るかどうかを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記決定することが、ネットワーク設定に基づく、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記ＵＥの前記能力が、前記ＵＥのコアネットワーク能力情報を含み、前記ＵＥの前記サブスクリプションデータが、前記第２の通信ネットワークに対するコアネットワークタイプ制限を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記ＵＥの前記能力の値が、Ｓ１モードサポートまたはＮ１モードサポートをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記ＵＥの前記サブスクリプションデータの値が、ＥＰＣもしくは５ＧＣを含む、または前記値が存在しない、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記ＰＤＵセッションプロシージャが、ＰＤＵセッション確立である、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記第２の通信ネットワーク中の前記ＰＤＵセッションのためのリソースを割り振るための要求を前記第２のノードから受信することをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記指示が、前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートしないことを示すとき、前記第２の通信ネットワーク中の前記ＰＤＵセッションのためのリソースを割り振るための前記要求を拒否するための応答を前記第２のノードに送ることをさらに含む、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記リソースが、ＥＰＳベアラ識別情報を含む、請求項８に記載の方法。
【請求項１１】
前記ＰＤＵセッションが、前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするとき、前記指示は、前記５ＧＳネットワークと前記ＥＰＳネットワークとの間のＮ２６インターフェースが前記ＰＤＵセッションの前記インターワーキングのために使用されるべきであるかどうかをさらに示す、請求項８に記載の方法。
【請求項１２】
前記Ｎ２６インターフェースが前記ＰＤＵセッションの前記インターワーキングのために使用されるべきでないとき、前記ＰＧＷ－Ｃ＋ＳＭＦから、前記ＰＤＵセッションのための前記ＥＰＳネットワーク中のベアラの識別情報を割り振るための要求を拒否するための応答を送ることをさらに含む、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
第１の通信ネットワーク中のユーザ機器（ＵＥ）のためのＰＤＵセッションプロシージャを促進するための第１のノードであって、前記第１の通信ネットワークが、第２の通信ネットワークとインターワーキングしており、前記インターワーキングをサポートする第２のノードが、ＰＤＵセッションを管理するために選択され、前記第１のノードは、
プロセッサと、
前記プロセッサによって実行されたとき、前記第１のノードに、
前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするかどうかを示す指示を決定することと、
前記指示を前記第２のノードに送ることと
を行わせる命令を記憶した、メモリと
を備え、
前記第１の通信ネットワークが第５世代システム（５ＧＳ）ネットワークであり、前記第

２の通信ネットワークがエボルブドパケットシステム（ＥＰＳ）ネットワークであり、前記第１のノードがアクセスおよびモビリティ管理機能（ＡＭＦ）であり、前記第２のノードがパケットデータネットワークゲートウェイ制御プレーン機能＋セッション管理機能（ＰＧＷ－Ｃ＋ＳＭＦ）であり、

前記決定することが、前記ＵＥの能力もしくは前記ＵＥのサブスクリプションデータに、または、前記ＵＥの前記能力および前記ＵＥのサブスクリプションデータの両方に基づいており、

前記ＵＥの前記能力の値がＳ１モードサポートを含む、若しくは、前記ＵＥの前記サブスクリプションデータの値が前記第２の通信ネットワークに対するコアネットワークタイプ制限を含む、または、その両方である、

第１のノード。

【請求項１４】

第１の通信ネットワーク中のＵＥのためのＰＤＵセッションプロシージャを促進するための第２のノードにおける方法であって、前記第１の通信ネットワークが、第２の通信ネットワークとインターワーキングしており、前記第２のノードが、前記インターワーキングをサポートしており、且つ前記ＰＤＵセッションを管理するために選択されており、前記方法は、

前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするかどうかを示す指示を前記第１のノードから受信することと、

前記指示に従って、前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするかどうかを決定することと、

を含み、

前記第１の通信ネットワークが第５世代システム（５ＧＳ）ネットワークであり、前記第２の通信ネットワークがエボルブドパケットシステム（ＥＰＳ）ネットワークであり、前記第１のノードがアクセスおよびモビリティ管理機能（ＡＭＦ）であり、前記第２のノードがパケットデータネットワークゲートウェイ制御プレーン機能＋セッション管理機能（ＰＧＷ－Ｃ＋ＳＭＦ）であり、

前記指示は、前記ＵＥの能力もしくは前記ＵＥのサブスクリプションデータに、または、前記ＵＥの前記能力および前記ＵＥのサブスクリプションデータの両方に基づいて決定され、

前記ＵＥの前記能力の値がＳ１モードサポートを含む、若しくは、前記ＵＥの前記サブスクリプションデータの値が前記第２の通信ネットワークに対するコアネットワークタイプ制限を含む、または、その両方である、

方法。

【請求項１５】

前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするかどうかは、前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークに移動され得るかどうかを含む、請求項１４に記載の方法。

【請求項１６】

前記ＰＤＵセッションプロシージャが、ＰＤＵセッション確立である、請求項１４に記載の方法。

【請求項１７】

前記第１のノードに、前記第２の通信ネットワーク中の前記ＰＤＵセッションのためのリソースを割り振るための要求を送ることをさらに含む、請求項１４に記載の方法。

【請求項１８】

前記指示が、前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートしないことを示すとき、前記第２の通信ネットワーク中の前記ＰＤＵセッションのためのリソースを割り振るための前記要求を拒否するための応答を前記第１のノードから受信することをさらに含む、請求項１７に記載の方法。

【請求項１９】

前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートしないと決定したとき、前記第２の通信ネットワーク中の前記ＰＤＵセッションのためのリソースを割り振るための準備をスキップすることをさらに含む、請求項１７に記載の方法。

【請求項２０】

前記リソースが、ＥＰＳベアラ識別情報を含む、請求項１７に記載の方法。

【請求項２１】

前記指示が、前記５ＧＳネットワークと前記ＥＰＳネットワークとの間のＮ２６インターフェースが前記ＰＤＵセッションの前記インターワーキングのために使用されるべきであることを示すとき、前記ＰＤＵセッションのための前記ＥＰＳネットワーク中のベアラの識別情報を割り振るための要求を前記ＡＭＦに送ることをさらに含む、請求項１７に記載の方法。

【請求項２２】

前記指示が、前記５ＧＳネットワークと前記ＥＰＳネットワークとの間のＮ２６インターフェースが前記ＰＤＵセッションの前記インターワーキングのために使用されるべきでないことを示すとき、第３のノード中の前記ＰＤＵセッションの情報を記憶することをさらに含む、請求項１７に記載の方法。

【請求項２３】

第１の通信ネットワーク中のユーザ機器（ＵＥ）のためのＰＤＵセッションプロシージャを促進するための第２のノードであって、前記第１の通信ネットワークが、第２の通信ネットワークとインターワーキングしており、前記第２のノードが、前記インターワーキングをサポートしており、且つ前記ＰＤＵセッションを管理するために選択されており、前記第２のノードは、

プロセッサと、

前記プロセッサによって実行されたとき、前記第２のノードに、

前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするかどうかを示す指示を前記第１のノードから受信することと、

前記指示に従って、前記ＰＤＵセッションが前記第２の通信ネットワークとのインターワーキングをサポートするかどうかを決定することと

を行わせる命令を記憶した、メモリと、

を備え、

前記第１の通信ネットワークが第５世代システム（５ＧＳ）ネットワークであり、前記第２の通信ネットワークがエボルブドパケットシステム（ＥＰＳ）ネットワークであり、前記第１のノードがアクセスおよびモビリティ管理機能（ＡＭＦ）であり、前記第２のノードがパケットデータネットワークゲートウェイ制御プレーン機能＋セッション管理機能（ＰＧＷ－Ｃ＋ＳＭＦ）であり、

前記決定することが、前記ＵＥの能力もしくは前記ＵＥのサブスクリプションデータに、または、前記ＵＥの前記能力および前記ＵＥのサブスクリプションデータの両方に基づいており、

前記ＵＥの前記能力の値がＳ１モードサポートを含む、若しくは、前記ＵＥの前記サブスクリプションデータの値が前記第２の通信ネットワークに対するコアネットワークタイプ制限を含む、または、その両方である、

第２のノード。